

こども会議通信

Vol.01

2018.12.17

こどものまち、始まりました。

12月2日(日) 今年度初のこども会議が開催されました！

参加した子どもは約40名。今回が初参加の子もいましたが、中には3年連続で参加しているベテランの子どもたちも。今回は、「みんなと仲良くなること」「こどものまちのイメージをつかむこと」を目標にこども会議を進めました。



はじめて子ども同士でも、ゲームで会話が弾む

▼緊張をほぐすゲーム

まず会議の最初は、みんなの緊張をほぐすためのゲームをしました！手拍子の数と同じ人数でグループをつくる「手遊びゲーム」や、知らない人同士が名前を覚え合える「となりとなりゲーム」など。ゲームをするにつれて子どもたちも笑顔になり、仲良くなるきっかけづくりができました。

▼ワーク1…お店を考える

ゲームで仲を深めた後は、今日のメイン「お店を考えるワーク」をしました。子ども同士でペアをつくり、お互いの「好きなこと」「やってみたいこと」をかけ合わせて、どんなお店ができるかを考



自分の好きなことをいっぱい書きます。

えました。1回目は「好きなこと」が似ているもの同士で、2回目は違うもの同士でペアを作り、お店のアイデアを出し合いました。カフェやアクセサリー屋など定番の人気店もあれば、星占いのお店、ようかん専門店など変わり種のお店も生まれました。

▼ワーク2…コンセプトを考える

会議の最後には、全員で円になりまちのコンセプトを考えました。



まちについての意見が飛び交う

▼次回に向けて

第2回こども会議は、12月2日(土)に北区役所で開催します。お店を考え、それぞれのお店の店長を決めていきます。

カイギのカギ

「職業は、神様!？」

アイデアを出すには少しのひらめきが必要です。北区こどものまちではお仕事の枠にとどまらず、自分が何になりたいか?自分がこのまちの中でどうふるまうか?それぞれの役割が、まちに新しい発見を与えてくれます。時には、神様だって登場するんです。

――

お店を決める作業を行っている中で、やってみたいことに「神様」と「物を作る」と書いた男の子のペア。どういうお店を作るか考えますが、なかなかいいアイデアが思いつきません。そこで、ファシリテーターの大学生から「神様になるにはどうしたらいい?」と一言。この一言を



きっかけに、「神社には神様がいるから、神様を職業にできる。」と考えた2人。さらに、神社といえば、おみくじやお守り売って、それを手作りするということで、物を作りたいという「やってみたいこと」もかけ合わせることができました。他にも、「願い事をかなえるときは1000どき!」「お賽銭は1000どきから!」とたくさんアイデアが出てきて、あつという間に時間切れ。最後にみんなの前で発表もして、今までにはなかった新しいお店を考えることができました。

※1「どき」は、北区こどものまち専用通貨の単位です。

今日のキーワード

「自由学校」

「作りたいお店は『自由学校』です!」

女の子2人が元気よく発表してくれたのは、「自由学校」というワード。絵を描くことが好き、そろばんが得意と、それぞれの得意分野から発展してお仕事として考えたのは、参加する人が好きなことや得意なことを発表して、褒め合ったり、教え合ったりすることができるところ。時には、得意なことと同じ人が集まり、ゲームをして競争してみたり。そんな風集まった人同士で自由に教え合ったり、競い合ったりできる学校を「こどものまち」に作りたい!と2人は考えていました。単に教えてもらうことだけではなく、そこに集まった人同士のコミュニケーションからまた違った学びができる学校が、こどものまちに開校するかもしれません。これからどんなお店ができて、どんなまちになっていくのか今からワクワクドキドキです!

text-みのり

text-すずな

3年目・始動！

「北区こどものまち」の3年目が始まりました。

今日は初めてのこども会議。

みんな初対面で緊張している様子。

でも仲良くなるきっかけさえあれば、話がはずむ。

今年はどんなまちになるのか、これからの会議に期待が膨らむ。

北区こども
のまち